

令和6年度 バイオマス活用検討委員会の概要

- 1 日 時 令和6年12月4日(水) 14:00~16:00
- 2 場 所 京都経済センター 4-F 会議室
- 3 内 容 ①バイオマスの活用をめぐる状況について
②第2次計画の進捗状況について
③最近の動きについて

【情報提供】

近畿農政局から、上記①について説明

(1) ①バイオマスの活用をめぐる状況について

[近畿農政局説明]

- ・バイオマスの活用に関する国の動きについて説明。

(委員からの主な質問・意見)

- ・国の積極的なリーダーシップのもと、計画策定を進めてほしい。
- ・バイオマスタウンは多くの市町村が策定していたが、バイオマス産業都市への移行はハードルが高く少ない。バイオマスに取り組もうとする市町村を支える仕組みが欲しい。
- ・バイオマスタウンの頃より市町村合併も進み、バイオマス産業都市計画を策定したものの実践が難しいと思われる市町村も多い。
- ・バイオマスの取組成功例があれば、興味をもつ市町村も出てくるのではと思う。
- ・20年前よりもバイオマスを知っている人が少ない。一般への浸透も大事。
- ・バイオマスは地産地消をベースにして考えるべき。

【議事】

事務局から、上記②~③について報告

(2) ②第2次計画の進捗状況について

[事務局報告]

- ・各バイオマスの推進方向、全体目標、令和5年度の実績等について、各課から報告。

(委員からの主な質問・意見)

- ・福知山市の下水汚泥の固形燃料化施設とは。
→下水汚泥を蒸し焼きにして炭化物(固形燃料)を製造する施設であり、炭化物は石炭の代替燃料として活用。
- ・竹、廃食用油の目標利用率と現状の乖離が大きい。目標達成へ向けた取組は。
→竹：課題は①切り手不足、②伐採コスト。①は事業体と林業者のマッチングや切り手の育成を実施。②はコスト実証を実施、竹の価値向上に取り組むことも検討。
廃食用油：民間事業者や市町村の取組を引き続き発信。また、3R支援センターによるサステナビリティアドバイザー事業でのマッチングなどに努めたい。
- ・廃食用油に関連して、ゼロエミッションアドバイザー派遣事業とは。

- サステナビリティアドバイザーに名称変更。廃棄物処理や再利用に知見のある専門家を派遣し、有効な方法等をアドバイスする仕組み。
- ・2020年から廃食用油の利用率が低下している要因は。
 - 算定方法の見直しによる。廃食用油以外の廃油も含めていたため、見直しを実施。
- ・稲わらはほぼすべてすき込まれているのか。
 - 田んぼへのすき込みがほとんど。一部壁土やよしず等への利用あり。
- ・生ごみの利用率が2020年から上昇している要因は。
 - 食品ロスを中心に対策を実施。
- ・竹のブランド化は他部署とも連携して実施してほしい。
- ・京都府のHPを一般消費者はなかなか見ない。アピール方法を検討してほしい。
- ・竹の発生量の算出方法は。
 - 森林資源の竹の面積に国の算定根拠である賦存量を掛け合わせて算出。
- ・放置竹林は近々の課題。林業振興課だけでなく、他部署含めての検討をすべき。
- ・事業系と家庭系のそれぞれの廃食用油の利用率は。
 - 発生量は国の推計値から推計しているため、事業系・家庭系の各内訳や利用率は不明。把握できている利用量だけで見ると、事業系：家庭系=3：1程度。
- ・小水力発電はどの程度普及しているのか。
 - 小水力発電のみの数字はないが、2022年度の府内の再エネ導入量においては中小水力発電による発電量は2.63億kwhであり府内の家庭用太陽光と同規模。
- ・現在物価が上がっているため、食品加工残渣等が今後減るのではと思う。
- ・放置竹林と利用されている竹林は区別して考えるべき。
 - 数値の算定について、今後の課題として整理していきたい。
- ・竹利用について、他府県での先進的な事例（九州電力など）を発信することも大事。
- ・廃食用油の算定方法変更により問題点が見えない。過去と比較できるようにすべき。
- ・HPはなかなか見てもらえない。企業と一緒に取組む等、アピール方法を工夫すべき。
- ・バイオマス計画自体を一般の人は知らない。情報発信をしてほしい。

(3) ③最近の動きについて

[事務局報告]

- ・最近特に動きのあった下水汚泥及び家畜排せつ物について、担当課から報告。

(委員からの主な質問・意見)・

- ・下水汚泥の肥料利用とは。
 - 堆肥化、コンポスト化。肥料利用に向けては、実際に農業者に利用してもらえるかが課題。
- ・リンは将来枯渇する確率が非常に高い。下水汚泥からの抽出も検討してほしい。

(4) その他

- ・バイオマス活用検討委員会について、設置要領の作成を予定。
- ・委員の後任が見つからない。廃棄物系や下水系の先生を検討予定。